

事務事業名		渇水対策事業		目標設定日	令和2年3月1日
				部・局	建設水道部
総合計画体系	基本政策	3	にぎわいと活力あふれるまちづくり	課・室	道路河川課
	政策	03	農林業の振興	係	監理係
	施策	02	効率的な生産基盤の維持	内線電話	305
予算体系	会計	一般会計		実施計画	
	款	8款	土木費	未計上	
	項	1項	土木管理費	実施期間	
	目	2目	新幹線関連事業対策費	合併前	～

目指す姿	対象（誰のために）	意図（どのような状態にしたいのか）	
	北部三区（田上区、岩井区、岩井東区）	北陸新幹線高社山トンネル掘削時以前の水環境の維持	
現状・課題	北陸新幹線高社山トンネルからの湧水をポンプアップして、枯渇した区内の沢水の代わりに必要量を放流している。		
市が行う理由及びその根拠	その他	平成20年5月1日付確認書並びに平成20年5月30日付補償契約書	
事務事業概要	補償契約に基づき整備した渇水恒久対策施設の管理運営を行う。		
令和2年度の活動指標アウトプット	活動内容		活動量
	高社山トンネル湧水量の確認		12回
	各地区放流量の調整・確認		12回

事務イン 事業プ ット	項目		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	予算額	当初予算		円	19,785,000	19,807,000
補正・流用等		円	0	0	—	
合計		円	19,785,000	19,807,000	19,972,000	
決算（見込）額 A			円	16,600,725	19,807,000	—
R2は予算額	財源内訳	国庫支出金	円			
		県支出金	円			
		市債	円			
		その他特定財源	円	16,600,725	19,806,000	19,971,000
一般財源		円	0	1,000	1,000	
正規職員数		人	0.45	0.40	0.45	
人件費 B		円	2,895,300	2,576,800	2,898,900	
総事業費 A+B		円	19,496,025	22,383,800	22,870,900	
市民1人当たりコスト		円	456	526	540	

成果指標	アウトカム	方向	平成30年度		令和元年度		令和2年度		
農業・生活用水の水量維持のための湧水量の確認		維持	目標	24	回	24	回	12	回
			成果	19	回	13	回	—	
各地区放流量の調整・確認		維持	目標	24	回	24	回	12	回
			成果	19	回	13	回	—	
成果指標と目標値を設定した理由	農繁期の水量不足等の発生を防ぐため								

令和2年度の実施方針	例年どおり実施	活動量	維持する	コスト	維持する	成果	維持する
	恒久対策施設機械設備のメンテナンスを維持するとともに、各地区放流量でデータ収集及び水量の調整を細目に実施する。						

